

公表

ディグ・スマイル・前橋南教室事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	2024年7月22日		～ 2024年8月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	2024年7月22日		～ 2024年8月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2024年8月17日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析されて上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されている。	日頃の支援の様子を職員間で共有し、現状の把握をしています。また、忍者・eggといった運動プログラムを日々取り入れることで、体幹を鍛える取り組みを行っています。	5領域に沿ってさらに細かく、一人ひとりに必要なアプローチを検討、個々に対応した支援を工夫していきます。運動プログラムの取り組みは継続していき、個々に合った体幹プログラムも取り入れていきます。
2	日頃からこどもの状況を保護者様と伝え合い、こどもの発達状況について共通理解ができている。	送迎の際に、保護者様へその日の様子を伝えていきます。保護者様の悩みを伺うきっかけとして、『お悩みアンケート』を配布します。アンケートをきっかけに、面談へと繋げていきお悩みを伺いその内容を支援に発展出来ています。	アンケート配布をきっかけに面談を行っていますが、送迎の際に保護者様の様子や言葉をくみ取ることで、面談へつなげていき、少しでもお悩みや相談できる環境を整えていきます。
3	こどもが通所を楽しみにしている。	近隣でのイベントへ参加を行い、様々な経験ができるような取り組みを行っています。また、児童館など公共施設での活動も行いルールやマナーを学ぶ取り組みを行っています。	イベント参加での経験を積んでいくこと・公共施設での活動の取り組みは継続していきます。その中で、集団での過ごし方・コミュニケーションの取り方についても学べるよう、個々に合ったアプローチも取り入れていきます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	生活空間が、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか、保護者様に知ってもらえる機会が少ない。	送迎のため来所される保護者様以外は、普段教室内を見る機会が設けられていません。また、ブログでの発信では活動の様子は伝えられますが、教室の様子までは発信できていません。	イベントや支援の様子を写真に残し、教室のお便りとして定期的に発信していくことで、教室の様子を知って頂く機会を設けていきます。また、実際に見て頂く取り組みとして、随時見学を受け入れる案内も発信して参ります。
2	家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていない。また、父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催により、保護者同士の交流の機会が設けられていない。	家族の方が学ぶ場を提供・開催する意識とスキルが不足しています。また、納涼祭へのお誘いはしているが、保護者の皆様が交流する場としての機会を提案できていません。	送迎の際や、面談を行った際などに情報の提供をしつつ、そこから研修会へお誘いするような流れを作りたいと考えています。同時にどういった研修を必要としているか、日々の保護者様との会話の中でくみ取り検討していきます。また、保護者様だけの集まりに抵抗があることも想定し、親子でのイベントを開催が出来ればと考えています。そこで保護者様同士の繋がりをつくるきっかけが出来ればと思います。
3	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対策マニュアル等が策定されているが、保護者に周知されていない。また、発生を想定した訓練についても職員が実施しているが、周知がされていない。	各マニュアルの策定はされているものの、保護者様への説明は契約時に行っている為、時間の経過とともに薄れてしまっている可能性があります。また、発生を想定した訓練を職員で行っていますが、保護者様に行っていることを伝えられていません。	各マニュアルを教室入り口に設置することは継続しつつ、定期的に保護者様に周知する方法を、検討し行なっていきます。